

# 第3回 抜歯しない埋伏歯の矯正治療

## —含歯性嚢胞を糸口として—

近年、下顎第二大臼歯と第三大臼歯の**重層埋伏症例**が散見される。かつて重層埋伏に対して、下顎第二・第三大臼歯を抜去する治療法が報告された。矯正治療では、下顎第二大臼歯あるいは第三大臼歯を抜去し、第三大臼歯あるいは第二大臼歯を保存することが報告された。

一方、この重層埋伏において治療法も重要だが、下顎第二大臼歯が水平埋伏する原因も重要である。下顎第二大臼歯は第三大臼歯と異なり、**萌出空隙不足**が原因とは考え難い。この原因が解明されれば予防も可能であろう。

このキーワードは**萌出嚢胞**であると考察される。萌出嚢胞は歯槽粘膜に発生する比較的稀な嚢胞で、萌出間近に発生するため**歯肉肥厚**や萌出遅延による埋伏と誤診されることも多い。しかし、適格な診断が行われれば、萌出嚢胞は稀とはいえ、しかも下顎大臼歯を**近心傾斜させる一つの原因**である。

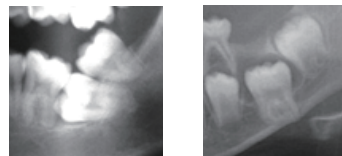
萌出嚢胞と**含歯性嚢胞**は濾胞性歯嚢胞とも呼ばれ、発生時期が異なるが、組織学的には同等である。いずれも貯留液内圧が高く、この内圧により埋伏歯は近心傾斜することがある。

今回、**含歯性嚢胞**の治療を通して、その発生機序と治療法を考察する。また、萌出方向異常に伴う埋伏歯の矯正治療を、症例供覧して解説する。埋伏歯の矯正治療が普及・発展すれば望外の幸せです。

### 供覧症例（抜粋）

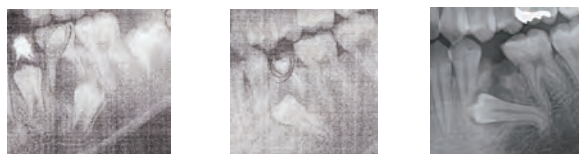


下顎第二大臼歯の**萌出嚢胞**（左から11歳、12歳、13歳時）



重層埋伏症例

含歯性嚢胞



5の**萌出方向異常**（左から10歳、14歳、16歳時）



講師

野田 隆夫

のだ たかお

東京医科歯科大学卒業  
歯学博士  
野田矯正歯科クリニック院長



参考図書

不拔歯しない埋伏歯の矯正歯科治療

著者：野田隆夫・野田雅代  
(クインテッセンス出版)

### 講演内容

- 萌出嚢胞・含歯性嚢胞・濾胞性歯嚢胞とは何か
- 下顎第三大臼歯のアップライトと下顎管
- 根尖屈曲埋伏歯は矯正治療可能か
- 上顎逆性埋伏歯の原因と矯正治療法
- 導帯管と歯牙腫・含歯性嚢胞
- 上顎犬歯による前歯歯根吸収の対応法
- 下顎小臼歯の萌出方向異常の原因
- 歯根弯曲発生メカニズム

日 程 2019年11月14日(木) 10:00～16:00

受講料 15,000円(税込)

会 場 中央大学駿河台記念館 (JRお茶の水駅徒歩4分)

後 援 株式会社 松風 矯正課

お申込み・お問い合わせ

(株)松風矯正課 NLT矯正セミナー係  
〒113-0034 東京都文京区湯島3-16-2  
TEL:03-3832-1824 / FAX:03-3832-7682

受講料お振込先

三菱UFJ銀行 昭島支店  
普通口座 0309309 NLT矯正研究所代表野田隆夫

\*申し込みはFAXでお願い致します。その後、受講費のお振り込みをお願い致します。ご入金を確認のうえ1ヶ月前に、案内をご送付致します。それ以後のキャンセルにつきましては、キャンセル料を申し受けます。

申込書

### ●第3回「不拔歯しない埋伏歯の矯正治療 —含歯性嚢胞を糸口として—」●

フリガナ

お名前 [ ] 貴医院名または勤務先 [ ]

ご住所 〒 年齢 [ ] 歳

TEL [ ] FAX [ ]

\*受講申込はFAXにて受け付けております。

FAX送信先 03-3832-7682

ウェブサイト <http://nodakyosei.com>